



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長  
弁護士・移民コンサルタント  
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援  
けよう」と豪援隊発足。16歳  
で単身オーストラリアに留  
学。その後、ボンド大学を卒  
業し、QLD州弁護士資格取  
得。長年に渡り、日本人なら  
びに日系企業、世界各国の  
クライアントのコンサルタント  
業務に従事。

### インデックス

- 今月のジョーク 1
- 1月の視点
- 今月の雑学
- 12月の視点
- 今月のダジャレ 1
- 今月のジョーク 2
- 11月の視点
- 今月のダジャレ 2
- サラリーマン川柳
- 今月の格言
- 今月のジョーク 3
- 今月のお店紹介

GO Australia Visa Consultant

PHOENIX  
LAW & ASSOCIATES

INJURY ACCIDENT  
LAWYERS

ConveyancingHome

Zoe's Angels

<http://zoesangels.org/>  
Go オーストラリアグループ  
は、Zoe's Angels  
「Zoeの天使たち」を  
支援しています。



弁護士 清水の

# 豪援隊かわら版

年末・年始特大号

今月のジョーク 其の壱 「運がつく(?)」 (ジョーク集より)

H: Whenever I get mad at you, you never seem to get upset. How do you manage to control your temper?

W: I just go and clean the toilet.

H: How does that help?

W: I use your toothbrush.



夫:「俺がお前に怒る時、お前はいつも冷静だが一体どうやって怒りを静めてるんだい?」

妻:「ただトイレに行って便器を掃除するだけよ。」

夫:「一体それでどうやって怒りを静めるといふんだ?」

妻:「あなたの歯ブラシを使うのよ。」



※新年から失礼致しました!

## 1月の視点 「嗚呼、日本のお正月が恋しい、、、」

皆さま、謹賀新年

また今年も当グループをよろしく願いいたします。

今号は、年末年始特別号と題して、3か月分の視点をまとめてお送りさせていただきます。年末には、あんなこともあったなあと懐かしみながらお楽しみください。

### その1 真夏の新年

あつーい! 30度を越えるオーストラリアで夏真っ盛りのクリスマスとお正月を迎えて、改めて日本人には寒いクリスマスとお正月のほうが情緒があるかと再認識をしたお正月です。

皆さまは、どこでどのように新年をお迎えになられたでしょうか?

### その2 オーストラリアのお正月

こちらは、お正月のお祝いよりも、クリスマスが盛大なお祝いとなります。そのため、お正月はあまりこれといったお祝いはありません。大変味気ないというのがオーストラリアのお正月です。せめて、食事だけでもお正月らしさをとお雑煮を作って家族で食べてお祝いしましたが、ウチのとなりのオジサンが1日の朝から、何もなかったかのように普通にお家の庭の芝刈りしているのを見て、益々お正月の味気無さを味わったお正月でした。。。

### その3 新年プレイボール

息子が地元のリトルリーグチームで野球を始めたこともあり、今年は新年早々3日から野球で始まる新年となりました。ゴールドコーストにて、ニュージーランドやシドニーからのチームを迎えて親善大会が行われたのですが、今回ブリスベン代表チームのコーチとして連盟からお話を受け、参加してきました。年末の選手選抜から3週間の準備期間で臨んだ大会でしたが、大変貴重な経験をさせていただきました。成績はともかく、ニュージーランドや他州のチームのレベルの高さを思い知らされた大会となりました。特にニュージーランドのチームは、とても統制が取れており、同じ年代の子供達とは思えない技術の高さもありました。今後、間違いなくニュージーランドからもメジャーに行く選手や日本のプロチームに行く選手も育っていくのではないのでしょうか。今後は若手選手のスカウトとして、選手の売り込みをメジャーにしていこうかと、ふと思った今日この頃です。

## 今月の雑学「刺身は夕方の方がおいしい」

(雑学集より)

刺身は、魚肉などをそのまま薄く細く切って、醤油などをつけて食べるものだが、夕方になると嗅覚が鈍ってくるため魚の生臭さを感じにくくなり、美味しく頂くことができるそうです。

日本人としては是非覚えておいて損はしないうちくですね！

是非お試しあれ！



## フラッシュバック 其の壱

### 12月の視点「2018年を振り返る」



少し前の号において、もう半年過ぎたなんていうことをコメントしたと思ったら、もうすでに12月です。毎年の決まり文句ですが、時の経つのは早いものですね。

#### その1 一足早く

今年は早めの休暇を3日だけ、12月初旬にいただき、リフレッシュさせていただきました。子供を連れてキャンプ場でキャンプとなったわけですが、オージーが好きな本格的なキャンプではなく、キャンプ場での「なんちゃってキャンプ」です。

こちらのキャンプ場に行くと気が付くのですが、オージーのキャンプにかける熱意には凄まじいものがあります。こちらのキャンパーは持ち込んでいる設備が違います。キャンピングカーは当たり前、キャンパートレイラーと呼ばれる牽引式のテント、キャンプ用冷蔵庫やテレビ等完備。キャンプという概念がすっかり変わってしまいます。オージーの多くは、長期休暇になると数週間単位でキャンプに行くことが多いのですが、なるほど、これだけ快適なキャンプ生活ができるのなら、そんな長期の滞在も苦にならないということでしょうね。

#### その2 2018年とは

2018年のオーストラリアは、いろいろな意味で変革の年であった気がします。我々の身近な部分では移民政策となりますが、これだけ露骨に移民に対して嫌悪感を示したオーストラリア政府は今までなかったのではないのでしょうか。他民族国家路線から民族対立路線へ、オーストラリアはその路線を切り替えました。経済の拡大よりも、ある一定の既存勢力の生き残りを重要視することとなりました。

来年には連邦議会の選挙も控え、今後益々移民政策以外にも、各政党の様々な政策を耳にすることとなるでしょう。既に、始まる前から野党労働党の圧勝となることが予想されている次の選挙ですが、当分は移民・外国人にとっては受難の日々が続きそうです。

## その3 クリスマスのお祝い

オーストラリアのクリスマスのご馳走は、なんとと言ってもシーフードですね。えびに、牡蠣に、サーモンにバグといったシーフードが並ぶのは夏にクリスマスを迎えるオーストラリアならではのことで、暑いクリスマスには、やはり温かい料理よりも冷たい料理の方がベターとなるわけで、オーストラリアの気候にあったご馳走であることは間違いありません。しかし、最近の問題はエビを始め、シーフードの値段が高騰していることでしょう。エビに発生した伝染病の問題もあり、こちらではエビが供給不足の状態が続いているようです。それでも、この日ばかりは皆奮発して高い値段のエビを食しております。

こちらは、お正月のお祝いよりも、クリスマスが盛大なお祝いとなります。朝からお酒を飲んでごちそうを食べて、昼過ぎには食べ過ぎてお昼寝をし、その後またディナーを食べて。。。なるほど、オーストラリアでは25日の翌日の26日も祝日ですが、これだけ派手にお祝いした後は休みが必要となるわけですね。

## その4 帰省ラッシュ

この時期はオーストラリア在住の日本人の皆さんにとっての、お楽しみ事といえば日本への帰省ではないでしょうか。当方の周りの方も、多くの方がこのクリスマス休暇の時期を利用して日本に戻られる方が多いです。

帰省して日本の寒い冬も閉口してしましますが、オーストラリアの真夏のクリスマスも大変です。どちらにしても、皆さまどうか良いお年をお迎えください。

## 今月の英会話ダジャレ その壱

(ダジャレ集より)

### How was my omelette? Eggcellent!

オムレツはいかがでしたか？  
大変ケッコウでした！



## 今月のジョーク 其の貳 「将来性」

(ジョーク集より)

先生との進路相談で、

先生「お宅の潤一郎君は、政治家に向いてるかも知れませんかね」

父兄「そんなに、社交的なんですか？」

先生「いいえ、クラス全員をだますのがとっても旨いんですよ！」



## フラッシュバック 其の弐

### 11月の視点「大変なニュース」

#### その1 とある朝の出来事

11月のとある日、朝からオフィスで書類の準備をしていたところ、入社したスタッフが「大変なニュースを聞いた」と筆者のオフィスに駆け込んできた。出勤途中に聞いていたラジオのニュースで、オーストラリア政府が年間19万人の上限として設定していた永住権発行数を3万人削減するということを発表したということ、そして永住者となるためには、人手が必要な地域への労働を強要すること、さらには永住権取得の条件の更なる厳格化を推し進めることをモリソン新内閣は決定したようだ。

以前にも伝えたが、永住権発行数の上限はこの8年ほど変わってはいない。しかし、実際のところ、この2年ほどは永住権発行数が上限に達していない状況が続いているのが実情である。昨年は16万3千人とまりであった。そのため、上限という名目だけの永住権発行数をここ数年はすでに2,3万人下回っていた実情を考慮すると、今回あえて3万人の削減をすることは実質の数字とマッチさせただけのことである。ただでさえ、オーストラリア政府の消極的な移民政策が垣間見える中、実質上限に達していないだけでなく、上限の数を削減したところに特定の人口に対するアピールと移民政策を目玉にしなければ選挙が戦えなくなっている自由・国民連立与党の抱えている問題を見ることができる。

移民が3万人減らされる場合にオーストラリア経済が蒙るダメージは5億ドルになるようだ。経済活性化、予算の黒字化を目標にし続けている政府にとって、この減額はかなりの痛手である。しかしながら、そうした深刻な痛手を蒙ることになったとしても、やらなければならないのが今回の永住者3万人カットのアピールである。経済的な影響の側面を考えれば、上限はそのままにとどめておいて、実際の発行数を制限してしまえば、予算の黒字を算出しやすくなる。そうした手段も使わずに、あくまでも移民制限のアピールを図ろうとしている点はやはり、とある国のやり方にならってのことであろうか。。。

それとも、来るAI時代を予期して、既に人口の削減を図ろうとしているのだろうか？選挙を意識するのであれば、まずは経済立て直しなのだが、それよりも移民政策を持ち出しているのは、ひょっとしたらこれ以上に大きな目的があつてのことかもしれない。

#### その2 被害拡大

そして、今までのやり方と異なり、今回はモリソン首相が3万人の永住者の削減を行う発表と同時に短期居住者まで、そのターゲットを変えてきた。そう、学生やワーキングホリデーメーカー連もである。その大きな理由として、学生やワーホリが多く都市部に住んでいるから、交通機関が渋滞するという、恐ろしく単純かつ信じられないような理由からであった。そもそも、そうした短期居住者用ビザを利用して滞在をし、その後永住権に切り替える人の数が多いことが永住権を取得する人間の数を増加させているという点が、おそらく実の理

由であると思われるが、そちらの方は間接的であり、あまり国民へのアピールにつながらない。そのため、交通渋滞という国民にとって身近な問題を提示することで賛同を得ようとしたのであろうかと思われる。

今後永住権への申請をする際にはそれまでの移民法に対する遵守記録、または人手と足りない地域への5年間の仕事を経ての都会への引越しが許される等、いろいろな条件を課することを予定しているようです。

今回海外学生がターゲットされることにより、豪教育産業には大打撃となる。もともと、教育産業はオーストラリアの第二の輸出産業としてオーストラリアの経済を盛り上げていたのだが、今となっては政府に敵視される存在となってしまった。そうした政府の方針を助長するかのようになり、元移民による犯罪がニュースで取り沙汰されることが頻繁である。政府がそうした政策を取らざる負えない状況に追い込まれているということをメディアを通じて国民に伝えるのが現状である。

ここでも経済立て直しよりも、移民緊縮である。

#### その3 学生ストライキ

今月は、いろいろと話題が豊富な月でした。その中でも、この話題はオーストラリアらしさを感じる特筆すべき話題となりました。

環境問題に対する政府の無(視)策に抗議する学生たち(小中高)がストライキを唱え、学校をボイコットし、環境問題に対処することを抗議するためにオーストラリア各地で集会をしデモをしました。それぞれが工夫したプラカードを持参してデモ集会を行ったわけですが、それに対してモリソン首相は「子供は学校でしっかり勉強をするだけでいい、このような行動を起こすことは学生の本分ではない。」とコメントし、一斉にオーストラリア世論からバッシングを受けておりました。資源相のキャナバン大臣は、「あのようなデモをして集まるような経験をして、将来失業手当をもらうために列に並ぶ練習をするようなものだ」と、非常におとんちんかんなお言葉を述べておられました。確かに政治家の方からすると、「何も知らない餓鬼どもが何を言ってやがる」というのが間違いなく本音であります。子供たちの純粋な地球環境をどうにかしたいという熱い気持ちを無碍にするようなコメントは世間知らずと呼ばれても仕方が無いかもしれない。

今回の学生たちによるデモ集会に対しては、普段子供たちを教えている教育現場より賞賛の声が上がっていたようである。何かひとつの目的に向かって行動をする、それ自体が「熱い」。この「熱さ」が、まだオーストラリアには残っているということは、まだまだオーストラリアも大丈夫だと勝手に思っている。子供たちのウイットの効いたプラカードのメッセージも非常に面白いものが多かった。こうした子供たちの姿を見ると、その熱い気持ちにどこか誇らしく思ってしまうのはなぜだろうか。日本人の子供たちもこういう「熱さ」を感じさせるようになってもらいたいと思う今日この頃である。

今月の英会話ダジャレ 其の貳 「疲れた自転車」

(ダジャレ集より)

A bicycle can't stand on its own because it is two-tired.

「自転車は二輪(疲れすぎて)なので自分で立てない。」

※"two-tired" (二輪)と "too tired" (疲れすぎて)をかけています。



今月のコピペ 「サラリーマン川柳」

(川柳集より)

『効率化 進めて気づく 俺が無駄』(さごじょう)

『禁煙し それでも家で 煙たがれ』(片根武)

『老後にと 米寿の父が 貯金する』(てる源爺)

『旦那への 家事に一言 ちがうだろー』(妻恐怖症)

『サブリやめ アプリで変身 妻の画像』(さっちゃん)



今月の名言

(名言集より)

年を取ってから、唯一励ましてくれるのは若い時の自分。  
若い時に何か自慢できることを行っていればそれが後に自身につながる。

武田鉄矢

今月のジョーク その参 「近況報告」 (ジョーク集より)

便器に腰を下ろそうとしたその時、隣から「やあ、元気？」と声がしたのです。皆そうですが、トイレで見知らぬ人と話をすることはありません。

どうしていいかわからなかったので、

ためらいがちに「まあまあだよ」と答えました。

すると男は「そうか、それで今何してるの？」と言うのです。

妙だなと思いましたが、私はバカみたいにごう答えました。

「君と同じだよ。用を足そうとしてるんだ！」

やがて隣の男は、声をひそめてこう言ったのです。

「おい、あとでかけ直すよ。」

隣の個室に、俺の話にいちいち答えるアホがいるんだ！」

(※すみません、またトイレネタでした！)



今月お店紹介

今回ご紹介するのは Fortitude Valley にある人気のステーキハウス、「Les Bubbles」です！大人な雰囲気の溢れる店内、行き届いたサービスで誕生日会やデートにピッタリ！しかもなんとこのお店ではフライドポテトが食べ放題なんです！すでにおなか一杯でしたがウエイターさんが次々と持ってきてくれたため、調子に乗って食べ過ぎてしまいました。(苦笑)美味しいステーキと一緒にデザートを頼むと更にお得に楽しむことができます。バリーの飲み屋街に繰り出す前に一度お試しになってはいかがでしょうか？



Les Bubbles Steakhouse

144 Wickham Street,  
Fortitude Valley, QLD, 4006  
Tel: 0444 573 955  
Friday & Saturday 6pm - late



GO Australia Visa Consultant

ブリスベン事務所

Level 17, 300 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: [info@goaustralia-visa.com](mailto:info@goaustralia-visa.com)

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)

日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

[www.goaustralia-visa.com](http://www.goaustralia-visa.com)